

覚

一、当七月四日、私共親類江戸堺町新兵衛、  
 大山江参詣仕罷帰候節、持病之癩差発リ  
 及難儀ニ候所、幸当御村平八縁類ニ御座候ニ付、  
 為療治致休息、御当所医師衆を相頼  
 色々御療治を請候得共、相不叶、夜中病  
 死仕候、尤供ニ附キ候家来共致看病罷在候得者、  
 毛頭病死ニ紛無御座候、依之新兵衛死骸在所へ  
 引取申度奉存候、此上新兵衛儀ニ付如何様之儀  
 申(者)もの御座候共、御村方へ少茂御苦勞懸ケ申  
 間敷候、為後日一札如此御座候、以上

延享三年寅七月五日

江戸界町親類 五 兵衛(左)

同所新兵衛家来 源 七(左)

生麦村縁類 平 八(印)

生麦村名主

次郎右衛門殿